

3. 特筆すべき活動 ((1)・(2) でA4用紙1枚)

(1) 全学の教育研究に関する組織改編等への取組と協力、特色ある教育GP等の採択状況と取組、21世紀COE等の採択状況など。

- (1) 全学協力体制による「基礎ゼミ」の実績が特色GP「『学びの転換』を育む研究大学型少人数教育」に採択された。
- (2) 特色GP「融合型理科実験が育む自然理解と論理的思考」の採択2年目にあたり事業を継続的に推進した。
- (3) 「国際連携を活かした高等教育システムの構築」プロジェクトに基づいて他大学との連携も図りつつFD活性化のパイロット事業を実施した。
- (4) 学部・大学院学生を対象に上級レベル課外授業「プラクティカル・イングリッシュコース」を開講して英語スキルの向上を図った。
- (5) 文部科学省の委託を受け、先導的の大学改革推進委託事業「履修証明の在り方に関する調査研究」(平成17年度)及び「入試個性化に関する国際比較研究」(平成18年度)の2つの事業を推進した。
- (6) 21世紀COEプログラム「言語・認知総合科学戦略研究教育拠点」(平成14年度採択・継続)は国際文化研究科を拠点としているが、語学研究室堀江薫教授は研究総括責任者として、吉本啓教授は事業推進担当者として同プログラムを推進してきた。

(2) その他、特筆すべき研究・教育・診療・社会貢献等への取組と成果、世界的位置付け (ISI citation など) など。

- [高等教育開発室] 第4回高等教育フォーラム(平成18年5月)の実施。授業評価の活用と授業改善に関する調査研究を実施(平成17~18年度総長裁量経費)。
- [入試開発室] 入学者の追跡調査の実施および方法論の研究を実施(平成17~18年度総長裁量経費)。みやぎ県民大学の実施(平成17~18年度実施)
- [語学教育室] Call用プラットフォームのWebOCMによる語学教育改善のための教育的環境整備を実施。
- [情報教育室] 高校学習指導要領の改訂にあわせた全学教育情報教育の標準シラバス確定とテキスト作成。平成18年度に教育用計算機システムのアカウント配布を大学院学生全員にまで拡張。
- [保健管理室] 第15回日本呼吸管理学会学術集会を開催。
- [学生相談室] ハラスメント窓口担当教職員を対象にワークショップFDを開催。

※高等教育開発推進センターとして全学教育における教育実施環境の品質保持と改善のために教育基盤運用室を設置した。